

経営比較分析表（令和3年度決算）

佐賀県太良町 町立太良病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,413	6,164	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

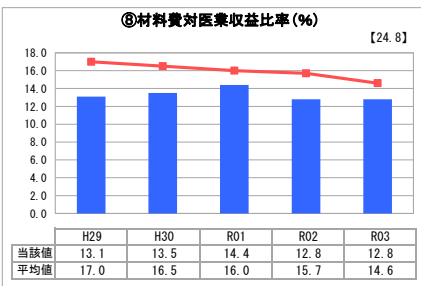
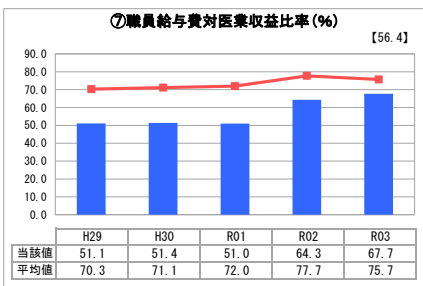
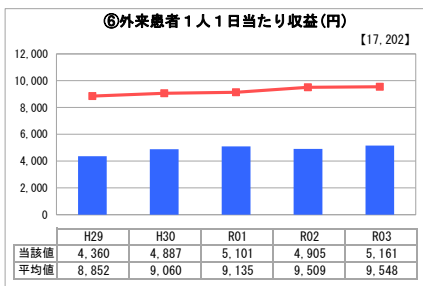
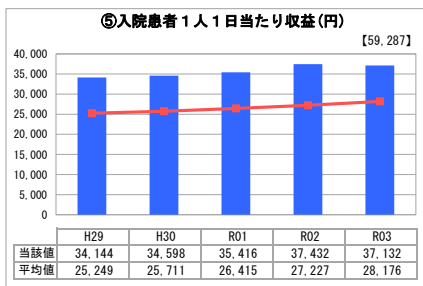
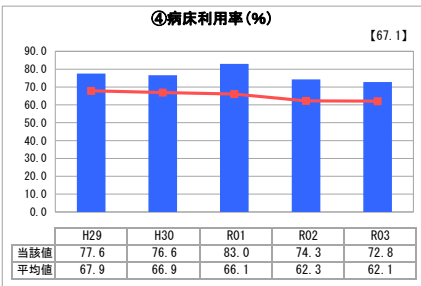
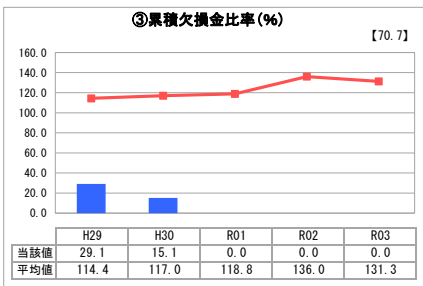
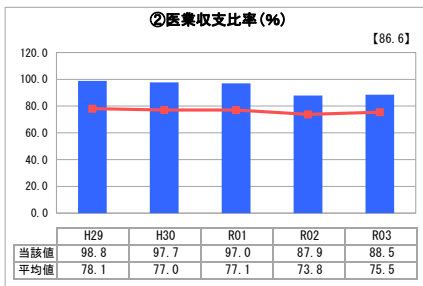
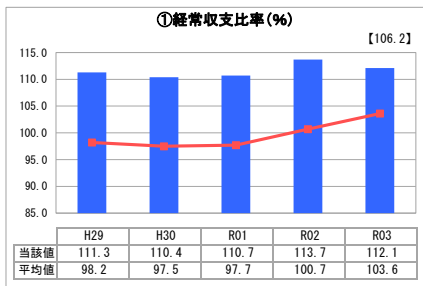
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
60	-	60

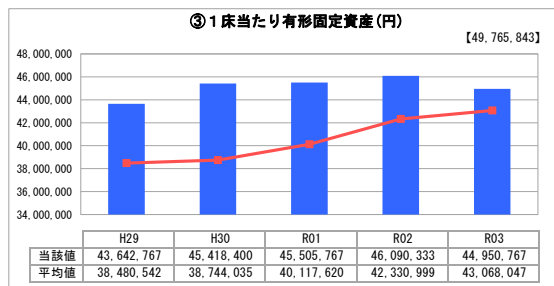
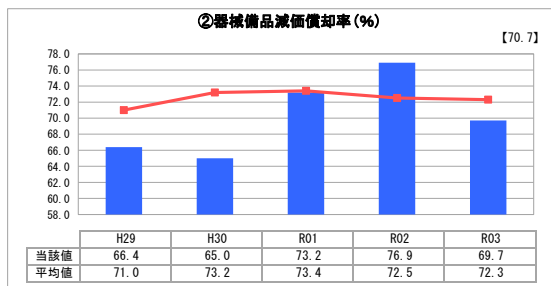
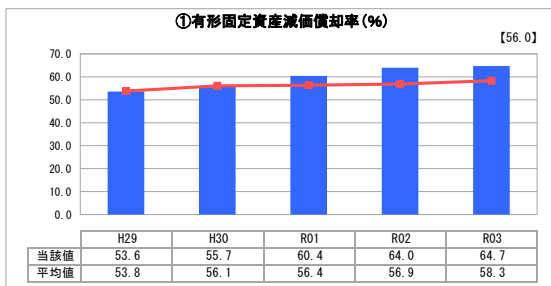
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

佐賀南部医療圏の南端に位置する人口8400人の町で、入院患者の75%、外来患者の90%が町内の方になり、地域のかかりつけ医療機関の役割を担っている。また、整形外科は年間189件の手術を行っており、小規模ながら内科、整形外科を中心に地域のニーズにあった医療提供が出来る。高齢化が進んでいる中、在宅医療や訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護も必要性を増しており、地域包括ケアシステムの中心となり、救急医療、小児医療から在宅医療介護まで幅広くカバーしなければならない。また、町内唯一の病院として、感染症患者受け入れ、及び予防接種事業等、保健分野の対応も必要とされている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営面は改善傾向にある。本年度も新型コロナウイルスの影響で利用率が低下し、医業収入としては減となったが、コロナ患者の受け入れ施設としての補助金等があり収益は維持できている。外来単価が低いのはリハビリのみの患者数が多いため特に問題はないが、定期的な検査を確実にし増収に努めたい。給与費率は、会計年度のフルタイム雇用の増加によるもの。材料費自体もここ2年間は入院患者や手術の減少に伴い減少。材料費率は今後とも価格交渉を徹底的に行う。経費全体の削減に努め、医業収支比率100%以上を目指す。

2. 老朽化の状況について

新築後17年が経過し修繕費等も増加傾向にある。減価償却率が類似病院よりも高くなってきているが、償却期間や耐用年数以上に大切に使用し、施設の長寿命化計画を参考にしながら、計画的な更新を行う必要がある。小規模病院で1床当たりの有形固定資産は高くなってしまいが、町内唯一の病院で救急から在宅までの必要な医療を提供していくためには欠かせない投資も多いと考える。今後とも計画的な投資と維持に努めなければならない。

全体総括

経営状況は全体的に改善傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響で医業収入が落ち込んでいるが、医業収支は昨年より若干改善している。太良病院の強み、また、必要とされている部分に力を入れていきたい。費用面では処遇改善や会計年度任用による人件費増となり、費用増となっているが、その他経費の削減に取り組みすること、必要な設備投資を行いながら健全経営を行ってきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。